

令和元年度卒業証書授与式 学校長式辞

金華山の緑や長良川の川面にも春の兆しを感じられる今日のこの佳き日に、本校PTA会長 加藤 拓真様、同窓会会長 中村 源次郎様をはじめ、多数のご来賓、保護者の皆様にご臨席を賜り、令和元年度岐阜県立岐阜北高等学校の卒業証書授与式を挙行できますことを、心より感謝申し上げます。

ただ今、卒業証書を授与しました卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。思えば、3年前の入学式、皆さんは真新しい制服に身を包み、これから始まる高校生活に期待と不安を抱きながら本校での第一歩を踏み出されました。高校における学習の質の高さと量の多さに戸惑いながら、勉学に、部活動に、学校行事に、無我夢中で取り組まれてきたのではないのでしょうか。

2年生の修学旅行では、抜けるような青空の下、与論島の豊かな自然と文化を満喫しました。白い砂浜とエメラルドグリーンの海で行われたハーレー大会、夕暮れの野外ステージで行われた学年交流会、皆さんの歓声と笑顔は今でも忘れられません。あまりの好天と興奮で体調を崩した人もいましたね。

3年生の北高祭では、どのクラスもステージで思いっきり演じ、歌い、踊り、一丸となって北高祭を盛り上げました。体育祭では応援団を中心に遺憾なくリーダーシップを発揮し、解団式では、達成感と感動が皆さんを包み込みました。雨が降り、雷鳴が近づく中、先生方、来場された保護者の方は、それをひやひやして見守ったことを今でも覚えています。

そして、皆さんは、その余韻に浸るまもなく、それぞれの目標に向かって直向きに努力されました。日暮れが早くなった初冬の放課後、自習室や教室で一心不乱に勉強している皆さんの姿がありました。私はそんな姿を見るにつけ、岐阜北高校の生徒に誇りを感じます。まずは、皆さんの3年間のたゆまぬ努力に対し心より敬意を表します。

これから皆さんは、それぞれの道に進まれます。もうこれだけ多くの仲間とともに同じ時間と空間を共有することはないでしょう。また、決められた時間の中で生活することもないでしょう。ある意味、高校までの教育においては、正しい答えが確かにあることが前提でした。しかし、これから、皆さんが進まれる世界においては、問いがあっても答えがないということもあります。むしろ誰もが納得する正解があることの方が希です。例えば、地球温暖化が進む中、なぜ、各国は化石燃料の削減で一致できないか？なぜ沖縄の基地負担を軽減することができないのか。なぜ、原発に依存せざるを得ないのか？これらの問題は、誰かに尋ねれば正解が得られるというものでは決してありません。皆さんは、これからそのような問いに直面していきます。これからの皆さんは、ある意味、正解のない荒野に一人立つこととなります。そんな皆さんに二つのことをお話しし、贈る言葉とします。

一つ目は、対立の中にこそ新しい考え方や発想があることを忘れないでください。今、グローバル化が進む現代世界において、社会の「分断」という言葉をよく聞きます。宗教や文化の対立を煽り、少数派を排除するような動きがあります。私達は、どうしても自分の考え方ややり方に固執しがちになります。しかし、それでは新しい発想は生まれません。多様性を受け入れ、粘り強くコミュニケーションを図ることによって、別の見方や考え方が生まれてくるかもしれません。是非、皆さんには異なる考え方や価値観を持つ人々に敬意を払い、

それを理解しようとする柔軟な考え方と感性を身に付けてほしいと思います。

二つ目は、人は思いがあればいつでも変われるということを忘れないでください。人生にステレオタイプの生き方はありません。皆さん一人一人のそれぞれの生き方があると思います。そして、思いがあれば、いつからでも、どこからでも変わることができます。人生は一発勝負ではなく、経験と失敗の積み重ねです。そこに至るまでの道程が回り道であったとしても、それは決して無駄ではありません。むしろ、その回り道があつてこそ、その思いは強くなるはずです。

さあ、卒業生の皆さん、旅立ちの時です。荒野に一人立つ皆さんの前には、まだ道はありません。そして行先も分かりません。皆さんの未来は可能性に満ちています。皆さんが新しい世界に向けて、自分にしかない道を切り拓かれることを心より祈っています。

最後に、ご臨席賜りました保護者の皆様。お子様のご卒業、誠におめでとうございます。この3年間、様々なことがあつたこととご推察します。嬉しい時には共に喜び、自信を失いかけた時には励まし、時にはともに涙されたこともあつたかもしれません。そのようにしてお子様の成長を支えてこられたご家族の深い愛情と絆に敬意を表しますとともに、本校の教育活動に対し、ご理解とご支援を賜りましたことに対し心より感謝申し上げます。有難うございました。

卒業生の皆さんの新しい時代におけるご活躍とご多幸を、今一度、心より祈念申し上げます。式辞とします。

令和 2年 3月 1日

岐阜県立岐阜北高等学校
校長 高木 俊明